

ドロップ・サイト・デイリー、3月6日：米・イスラエルによるイラン空爆が7日目に突入；イスラエル攻撃でレバノンで数十万人が避難；トランプ大統領がノーム州知事を解任

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イラン戦争

***米・イスラエル空爆、7日目：**3月6日、イラン戦争7日目に突入、米・イスラエル両軍がテヘランとイラン各地を激しく爆撃した。首都テヘランの住宅街とテヘラン大学付近では大きな爆発の報告が相次いだ。目撃者はAP通信に、今日の空爆は特に激しく、住宅が揺れたと話した。シーラーズ、コム、エスファハーン、ケルマーンシャーでも爆発が報告された。ISNA（イラン学生通信社）によると、シーラーズ市のジバシャール住宅街への空爆で少なくとも20人の民間人が死亡し、30人が負傷した。タスニム通信によると、死者には救急隊員2人が含まれている。

***死傷者数：**イラン赤三日月社によると、イラン人死者は少なくとも1,332人に達した。政府のファテメ・モハジェラニ報道官は、死者の約30%が子どもだと言った。

***3,600以上の民間施設が被害：**イラン赤三日月社のピル・ホセイン・コリヴァンド代表によると、米・イスラエルの攻撃で、3,090戸の住宅を含む3,643の民間施設が破壊された。さらに、523の商業・サービス・センター、14の医療・製薬施設、赤三日月社施設9棟も被害を受けた。

***米・イスラエル、近日中にさらにエスカレートした攻撃を示唆：**3月5日、米・イスラエル当局者はイラン攻撃を拡大する可能性を示唆した。ピート・ヘグセス国防長官は5日の記者会見で、「イランとテヘランを破壊する火力の量を劇的に増加する」と言った。イスラエル軍参謀総長のエヤル・ザミール中將は、イスラエル軍は「イラン政権の基盤と軍事を破壊する攻撃をエスカレートする」と言った。イスラエル軍は、テヘラン南部の宗教学園都市コムの工業地帯の住民に避難命令を出した。

***開戦時、女子小学校を攻撃し180人の児童を殺害したのは米軍の犯行という証拠：**2月28日のミナブの女子小学校を爆撃し、7~12歳の女子小学生168人を含む約180人の児童を殺害したのは米軍だという証拠が増えている。[ニューヨークタイムズ](#)が衛星画像や検証済みの動画、SNS投稿などを調査した結果、米軍がホルムズ海峡付近のイラン海軍拠点を攻撃したときに、この攻撃も行ったことが分かった。また、[ロイター通信](#)の報道でも、米軍捜査官らが米軍が関与した可能性が高いとして捜査しているが、まだ最終的結論は出ていないという米軍当局の発言が引用されている。ピート・ヘグセス国防長官は3月4日、米軍が女子小学校攻撃を調査中であることを認めた。この攻撃は、単一の攻撃で児童を殺害した最悪のケースとして記録される。

***ホワイトハウス、戦争美化のモンタージュ映画を投稿：**イラン攻撃が激化する中、3月4日の夕方にホワイトハウスは、『アメリカの正義』という文言で小映像を公開した。実際の軍事行動とヘグセス長官の言葉と、映画『グラディエーター』、『ブレイブハート』、『トップガン』、『トロン』、『ジョン・ウィック』、『スーパーマン』、『トランスフォーマー』、『デッドプール』などのシーンをモンタージュ（合成）した作品である。

***トランプ大統領、イランに無条件降伏要求：**トランプ大統領はSNSで、「無条件降伏」なしのイランとの合意はあり得ないと発言した。

***イラン、バーレーン攻撃：**バーレーン内務省は、イランがバーレーンの国営石油施設を攻撃したと確認した。バーレーン唯一の製油所で、地域の主要エネルギー拠点であるバプコ・リファイニング社のシトラ製油所が攻撃され、他に首都マナーマの高層ビルも攻撃された。高層ビル攻撃は、外国人駐在員や商社マンがよく滞在する高級タワーマンションの特定の部屋を狙った精密照準爆撃と思われる。

***イラン、クウェート攻撃、米大使館活動停止：**イランはクウェートに向けて一連のミサイルとドローン発射を実施、クウェート軍は領空侵犯した敵対的飛行体に対し防空システムが対応していると発表した。迎撃行動中、空襲警報が鳴り響き、各地で爆発音が聞こえた。X投稿は、クウェート国内の米軍施設が攻撃の標的となったという情報筋の言葉を伝えている

る。米務省はクウェート市内の米国大使館の業務を停止し、米国民に、可能であれば国外に退避するか、屋内に避難するように指示した。クウェート国防省の発表では、クウェート軍兵士2人が死亡し、67人が負傷した。

***イラクで戦闘機が墜落した：**地元警察によると、イラクの南バスラ地域で戦闘機が墜落したが、パイロットは墜落前に脱出した。パイロットはまだ見つかっていない。イランのファルス通信は戦闘機を「侵略者戦闘機」と呼んだが、米戦闘機かイスラエル戦闘機かはまだ不明である。米中央軍は、バスラ上空で米軍機が撃墜されたという報道を否定、「根拠がなく、真実でない」と発表した。

***イラン革命防衛隊 (IRGC)は武器保有を主張、米軍はミサイル発射装置を攻撃：**IRGCはイランは長期戦に備え、まだ使用していない最新兵器システムがたくさんあると言っている。IRGC報道官のアリ・モハンマド・ナエイニ准将は、「敵は我々の作戦の波で痛い打撃を受けることを覚悟するがよい」と述べ、まだ大規模に使っていない「技術革新兵器」があると言った。ウォールストリート・ジャーナルによると、米国とイスラエルが自分たちの防空迎撃ミサイルの備蓄がなくなる前に、イランのミサイル発射装置とドローン・システムの破壊を急いでいる。米・イスラエル航空機がイランの地下基地を監視し、「移動式発射装置が地上へ出現したら、即座に攻撃する。ヘグセス国防長官はこの戦術を「矢ではなく射手を射る」と表現した。米中央軍は、イランが分散型「モザイク防衛」戦術と、ミサイル発射装置を隠すための改造トラックを用いているが、開戦後4日間でミサイル発射件数が86%減少したと発表した。

***米国とカタール、ウクライナ製迎撃ドローンの導入を協議：**ロイター通信によると、米国とカタールは、イランのシャヘド・ドローンに対抗するために、ウクライナ製ドローンを導入することをウクライナ政府と協議を始めた。[報道](#)によると、飛来するドローンを検知し、その通信信号を妨害するウクライナの技術が協議の焦点となっている。ゼレンスキー大統領は、米国政府がシャヘド・ドローンへの対抗支援を求めたことを確認し、ロシアに対するウクライナの防衛力を弱めない限り、協力を検討すると言った。

***アラグチ外相、イランの戦争目的について語る：**イランのアッバース・アラグチ外相はNBCニュースに出演してイランの戦争目的と展望について語った。イランは停戦や米国との協議を求めているとはっきり言った。2回目の交渉でも、米国は侵略行動を行ったので、もはや米国と交渉する理由はなくなったと述べた。外相は、米国がデマ宣伝しているような米本土を攻撃する意図はなく、この地域に展開する米軍の広範なプレゼンスを標的にして反撃していると述べた。また、ホルムズ海峡を完全封鎖する計画はなく、海峡は依然として開いているが、戦争が続く限り、「あらゆるシナリオ」が起こり得ると述べた。「これは我々が仕掛けた戦争ではない。米国が選択した戦争だ」と、彼は強調した。

***トランプ、イランのミサイル、ガス、指導者について語る：**[トランプ大統領](#)は、米・イスラエルの合同作戦によってイランの軍事力が急減したという軍指導部の主張をオウム返しに繰り返し、「イランがミサイルを発射すると、4分以内に我が軍がミサイル発射台を破壊する」と言った。さらに、イランのミサイルの約60%と発射台を破壊したと主張した。彼は、戦争が米国のエネルギー市場に与える影響についてロイター通信記者が質問すると、ガソリン価格上昇について「まったく心配していない」と答えた。「戦争が終われば、ガソリン価格はすぐに下がるだろう。ガソリン価格の上昇はあるだろうが、これ（イラン攻撃）はガソリン価格の多少の上昇よりはるかに重要なことだ」と言った。さらに、同じインタビューの中で、トランプは、イランの次の指導者の選出には米国政府が関与する必要があると述べ、「米国政府がイランと一緒に次期指導者を選ばなければならない」と言った。誰にするかを決めるのはまだ時期尚早だが、「いろいろな人物が候補群の中にいる」と述べ、亡命中のレザ・パフラビ皇太子もその一人だと言った¹。ワシントン・ポストは、最高指導者選出過程で「反乱や離反の兆候は確認されなかった」と報じた。

***米国はクルド人の戦争参加を期待している：**ジャーナリストのエヴァン・ヒルが作成した攻撃地図によると、イランのクルド人地区で記録されている米・イスラエル軍の攻撃のほぼ半数がイスラム革命防衛隊施設と警察に集中している。それらは、西アゼルバイジャン、クルディスタン、ケルマンシャー、イラムの各州に集中している。イラン戦争におけるクルド人の役割について、3月5日、トランプはロイター通信に、イラクにいるイランのクルド人部隊が越境してイランを襲撃

¹ トランプはイランの次期指導者は親米でなければならないと言っていたが、結局、殺害されたアリ・ハメネイ師の次男で反米強硬派モジタバ・ハメネイ師が最高指導者となり、トランプは「私は不満だ」と言い、フーシ派とヒズボラは歓迎した。

するば「素晴らしいのだが」と語った。米国はイランのクルド人勢力に空から支援するののかというロイター通信の質問に対し、「それに答えられない」と言ったが、クルド人の目的は「勝利すること」だと付言した。

***イラン戦争で中東地域で大規模な避難民：**世界保健機関（WHO）は、この戦争のために幾つかの国で大規模な避難民が発生していると発表した。WHO のテデロス・アダノム・ゲブレイエス事務局長によると、戦争開始後、約10万人がイランから脱出した。彼は、南レバノンではイスラエルの避難命令で最大100万人が避難を余儀なくされたと言った。ベイルート南部郊外では70万人が避難民になる可能性がある。WHO はまた、米・イスラエル軍事行動以降、イランの医療インフラへの攻撃が13件あり、医療従事者が4人死亡し、25人が負傷したと述べた。

レバノンへの攻撃

***死者数：**レバノン保健省によると、イスラエルのレバノン攻撃による死者数は少なくとも217人で、負傷者は798人である。

***イスラエル軍、南レバノンとベイルート郊外攻撃：**3月6日、イスラエル軍機がベイルート南部郊外のダヒエを爆撃した。イスラエル軍の発表によると、同地区へはこれで26回目の爆撃である。また、イスラエル軍はレバノン南部と東部の町々をも空爆した。レバノン保健省によると、南部の沿岸都市シドンでは5人死亡、7人が負傷した。ダヒエ空爆は2日目となり、アル・ジャジーラによると、5日にはゴベイリとハレット・フレイクでも空爆があった。5日にはレバノン全土で少なくとも10人が死亡した。10人のうちには、南レバノンの4人家族と村長夫妻の死亡も含まれている。

***イスラエルが破壊するぞと脅し、ベイルート南部郊外から強制避難：**攻撃激化とイスラエル軍の避難命令を受け、ベイルート南部郊外の住民は避難を開始した。約40万人人口のダヒエ住民も含まれる。イスラエルの極右政党「国家宗教党」のベザレル・スモトリッチ党首は5日、「ダヒエはイスラエルが焼き払ったガザ回廊のハーン・ユーニスのようになるだろう」と言った。イスラエル野党中道派の指導者ヤイル・ラピッドも、イスラエルは「ガザ回廊のイエローラインをモデルにして、南レバノンのすべての村落から住民を追い出して、破壊すべきだ」と言った。「レバノンの村2〜3を削り取るのはいくことではないだろうが、これは彼ら自身が招いたことだ」とラピッドは言っている。レバノンの人々が何を思っているかは、ダヒエの人がジャーナリストのジェレミー・ロフレドに送った、差し迫った絨毯爆撃への恐怖を語る[音声メッセージ](#)がある。ドロップ・サイト・ニュースで聞いてください。

***赤十字国際委員会：**AP通信によると、赤十字国際委員会中東担当報道官のハム・オセイランが、3月2日以降レバノンで数十万人が避難を強制されていると述べた。「爆撃に加え、ベイルート、南レバノン、ベッカー高原の全域に発令された避難命令で、人々の間にパニックと混乱が生じている。多くの人が逃げ出している。中には着の身着のまま、どこへ行く当てもなく、徒歩で避難している人々もいる。」

***ヒズボラ：**ヒズボラも、イスラエル住民に避難命令：ヒズボラは6日早朝、テレグラムのヘブライ語チャンネルに、国境から5キロ以内のイスラエル北部住民は避難するようにと警告するメッセージを投稿した。その中で、「レバノンの主権と国民の安全を脅かすイスラエル軍の侵略、民間インフラの破壊、強制追放作戦は決して許されない」と述べている。

***ヒズボラ、精鋭部隊ラドワンを南レバノンに派遣：**5日の[ロイター通信](#)によると、進撃するイスラエル軍に対抗するために、精鋭部隊ラドワンの戦闘員を南レバノンに再派遣した。再派遣から1日以内に、ラドワン戦闘員が南レバノンにあるイスラエル軍のマジン・ダニエル基地を攻撃した様子を映した[映像](#)を公開した。ヒズボラはこの攻撃でイスラエル兵を負傷させたと言った。イスラエル軍の発表では、5日の南レバノンの戦闘で将校1人が重傷、もう1人が中程度の負傷を負った。

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

***ガザ回廊への空爆と砲撃が続く中、軍はパレスチナ人男性を殺害：**Wafaによると、6日、ガザ市東部のシュジャイヤ地区のサラーフ・アッディーン通りで、パレスチナ人男性がイスラエル軍に射殺された。また、イスラエル軍は「イエローライン」付近の住宅や建物の組織的破壊を続けている。このような停戦違反を続ける中、ガザ回廊中央部のデイル・アル・バラフ東部を攻撃し、さらにブレイジ難民キャンプ東部を砲撃した。

***トランプ大統領、ネタニヤフ首相の恩赦を再び要求：**アクシオスとのインタビューの中でトランプ米大統領は、イスラエルのイサク・ヘルツォグ大統領を「恥さらし」と呼び、汚職容疑のネタニヤフ首相に恩赦を与えよと、再び大統領に要

求した。「私は毎日ビビ（ネタニヤフ）とイランを協議してやっている。彼に戦争に集中させたい。くだらない裁判に思わせたくない。ビビへの圧力はイラン戦争だけであってほしい」とトランプは言った。

米国ニュース

***トランプ大統領、ノエムを解任：**5日、トランプ大統領は、クリスティ・ノエム国土安全保障長官を3月31日付でマークウェイン・マリン上院議員（オクラホマ州共和党）と交代させると発表した。ウォールストリート・ジャーナルによると、トランプ大統領は3月3日の移民取り締まりに関する公聴会でのノエムの議会証言、特に彼女が国土安全保障長官としての自分を宣伝する広告に2億2000万ドルを費やすことを大統領が承認したと言ったことに激怒したと言われる。彼女はトランプ大統領に解任された最初の閣僚となるが、同時に彼女は「米州の盾」の「特使」に任命された。「米州の盾」は、トランプ政権がラテンアメリカ・カリブ海の親米諸国を集めて来週に初回会合を開くと言われている安全保障協定である。リチャード・ブルーメンソール上院議員（コネチカット州民主党）は、ノエムの議会証言に関する偽証疑惑の調査を求めると言った。NBCによると、ノエム長官は1億ドル規模の広告キャンペーンの請負業者を規定が定める入札ではなく、自分で業者を選定した。広告キャンペーンの表向きの目的は、ICE 職員の採用であった。ノエム長官の異常な手続きに疑問を呈した国土安全保障省職員が超過処分を受けたという報道が以前にあった。

***下院、大統領のイラン戦争を制限する戦争権限決議案を否決：**共和党が多数を占める下院は、大統領のイラン戦争に対して議会の承認を義務付けるカーナ＝マッシー戦争権限決議案を、212対219で否決した。上院が同じような内容の法案を否決した翌日のことである。この決議案に賛成した共和党の議員は、共同提案者提案者のマッシーとウォーレン・デビッドソンだけであった。4人の民主党議員、ジャレッド・モスコウィッツ、ジョシュ・ゴットハイマー、トム・スオツツイ、グレッグ・ランズマンは、共和党とともに、否決票を入れた。下院はまた、イランを世界最大のテロ支援国家と宣言する拘束力のない決議も可決した。

***副首席補佐官、麻薬カルテルに対する軍事行動を要求：**ホワイトハウスのスティーブン・ミラー副首席補佐官は、麻薬カルテルをISIS やアルカイダと同じように「残酷に容赦なく」処置すべきだと述べた。彼は、米南方軍司令部で開かれた米州カルテル対策会議で、カルテルに対しては「刑事司法による解決」ではなく、「軍事力で打倒すべきだと主張した。

***上院議員、西岸地区におけるパレスチナ系米国人殺害事件の捜査を要求：**クリス・ヴァン・ホーレン上院議員（メリーランド州民主党）を筆頭とする30人以上の上院議員が、2月に占領下の西岸地区で入植者によってフィラデルフィア出身のナスララ・アブ・シャムが殺害された事件に関して、正式捜査を要求した。ヴァン・ホーレン議員は、國務省、駐イスラエル米国大使、司法省宛てに、バーニー・サンダース上院議員（バーモント州無所属）、エリザベス・ウォーレン上院議員（マサチューセッツ州民主党）、クリス・マーフィー上院議員（コネチカット州民主党）、コリー・ブッカー上院議員（ニュージャージー州民主党）、ラルフ・ワーノック上院議員（ジョージア州民主党）など31人とともに共同署名した書簡を送った。ペンシルベニア州選出のジョン・フェッターマン上院議員（民主党）とディブ・マコーミック上院議員（共和党）と上院少数党院内総務のチャック・シューマーが署名していないと、ドロップ・サイトの寄稿者ジャスパー・ナサニエルが指摘している。

***トランプ、イランの後キューバへの軍事行動を示唆：**トランプ大統領は、マルコ・ルビオ國務長官のキューバへの制裁強化を称賛し、イラン戦争が終わった後キューバに対して軍事行動をするかもしれないと述べた。トランプ大統領は、メジャーリーグのサッカーチーム「インテル・マイアミ」のホワイトハウス訪問中に演説し、「キューバで起きていることは驚くべきことだ。まず、これ（イラン戦争）を先に片付けよう。それは時間の問題だ」と言った。

***プロトン・メール²支払いデータを使って、FBI が警察訓練センター建設に反対デモ「ストップ・コップ・シティ」参加者を特定：**404の最新レポートによると、スイス政府は、アトランタの警察訓練センター建設に反対するストップ・コップ・シティ運動の一環である「アトランタの森を守る」グループのプロトン・メール・アカウントへの支払いデータをFBI に提供した。これは相互刑事共助条約に基づく情報提供で、これによって、FBI が破壊活動や砲火の疑いがあるとして

² スイスの Proton AG のエンド・ツー・エンド暗号化電子メールサービス。

いる抗議活動家や環境保護活動家を、アカウント支払いを通じて特定した。プロトン・メールはユーザーの安全やプライバシー重視を謳っているが、直接 FBI にデータを提供したのではなく、スイス政府の法的拘束力がある命令に従ったと述べた。ユーザーがクレジットカードで支払った場合、同社はカード所有者を特定できる支払い者名簿があると言った。[404 レポート](#)はドロップ・サイト・ニュースで読みたい。

***TAP、オハイオ州のデータ・センターの急上昇に対応：**コロンバス近郊のニューオールバニーは、メタ、アマゾン、グーグル、マイクロソフトなどの企業が、AIの急速な発展を支えるために巨大なサーバー・キャンパスを建設しているので、米国のデータ・センター・ハブになっている。この開発のため、数1000エーカーの土地が変貌し、今やコロンバス地域が全米最大のハイパー・スケール・データ集積地になっている。しかし、アメリカン・プロスペクト紙の最新ニュースによると、オハイオ州の住民は2021年と比べて月額42ドルも高い電気料金を払っている。だから、この発展に誰もが喜んでいるわけではない。グランビル市ノメリッサ・ハートフィール市長は地域集会で、「私たちは基本的に自分を毒するためにお金を払っているようなものです」と言った。オハイオ州のデータ・センター・ブームに関する TAP の [レポート](#) はドロップ・サイト・ニュースで読んでください。

その他の国際ニュース

***パキスタンとの戦闘で数万人の避難民が出るなか、アフガニスタン人が国境沿いで集会：**アフガニスタンの東部州で数百人のアフガニスタン人が、アフガニスタン軍を支持し、1週間の国境紛争でパキスタンが民間人を殺害したと住民が主張するパキスタン軍の攻撃を非難する [集会](#) を開いた。国連報告によると、2月26日以降、少なくとも42人の民間人が死亡、104人が負傷し、約6万6000人が避難を余儀なくされた。戦闘のため、人道支援も困難なり、世界食糧計画 (WFP) は、深刻な飢餓状態にあるアフガニスタンの約16万人への緊急食糧支援が停止していると発表した。双方の死傷者数の主張は検証不可能である。パキスタンはアフガニスタン兵が430人死亡した発表し、アフガニスタンはおパキスタン兵が150人死亡したと推定している。

***アフガン・パキスタン戦争に関するドロップ・サイトの報告：**アフガニスタンとパキスタンの戦争は依然として継続しており、アフガニスタン東部のクナル州、ホースト州、パイティア州、ナンガルハル州の住民は、上空を通過する砲弾や軍機の日撃を報告している。首都カブールでも、戦闘機やドローンの音が響いている。ある住民は「何か大変なことが起こっていることが分かりました。みんな戦争が再燃したと言っています」と、ドロップ・サイトの記者に語った。ドロップ・サイトの特派員エムラン・フェロズの [最新レポート](#) をドロップ・サイト・ニュースで読みたい。

***スーダン軍、戦略的都市を奪還、コルドファン州で砲撃が続く：** [スーダン・トリビュン紙](#) によると、5日、スーダン軍は、10月から戦略都市バラを制圧していた即応支援部隊 (RSF) との激しい戦闘の末、北コルドファン州の戦略都市バラを取り返したと発表した。地元筋によると、RSF は報復として近隣のウム・クライディム村を襲撃、家屋を焼き、スーダン軍に味方したと非難して、住民を暴行した。この襲撃で少なくとも2人が死亡したと言われる。5日にはディリングでRSFの砲撃があり、9人が死亡、51人が負傷した。また同日、スーダンの部族指導者ムーサ・ヒラールがハルツームに着いた。彼の暗殺未遂と、彼の北ダルフール州の拠点であったミステリアをRSFに制圧されて以来、彼が初めて公けの場に現れた。

***イスラム過激派、ナイジェリア軍基地を攻撃、少なくとも14人の兵士を殺害：** [ロイター通信](#) が引用した情報筋によると、3月3日の夜、イスラム過激派民兵はボルノ州北東部の2つの基地を同時攻撃し、少なくとも14人のナイジェリア軍兵士を殺害し、数人を負傷させた。「イスラム国西」(ISIS-WEST)の戦闘員と見られる集団がンゴシェの基地を制圧し、兵士9人と地元のイマーム (イスラム社会の導師) 1人を殺害し、武器を奪取、数人の女性を拉致した。他にブルカ基地を攻撃し、司令官を含む兵士5人を殺害した。

***コンゴ民主共和国東部のルバヤ・コルタン鉱山で土砂崩れ、200人以上が死亡：**3月4日、ルバヤ・コルタン鉱山で、豪雨のために土砂崩れが生じ、約70人の子どもを含む200人以上が死亡した。世界のコルタンの約15%を生産し、2024年からルワンダが支援する反政府武装勢力のM23が支配するこの鉱山は、1月下旬に約400人が死亡した崩落事故など、度重なる災害に見舞われている。アル・ジャジーラによると、M23は、死者数の報道に異議を唱え、崩落は爆撃が原因だと主張している。

***イラン戦争のため、ロシア・ウクライナ和平協議の再開延期：**ウクライナのゼレンスキー大統領は、今週予定されていた米国仲介のロシア・ウクライナの協議が、米・イスラエルのイラン戦争のために延期されたと発表した。彼は「現在、イランをめぐる情勢により、3国間会議開催に必要な兆候は見られない」と述べ、「しかし、安全保障状況と全体的な政治情勢が3国間外交交渉が再開できる状況になれば、すぐに会合が開かれるであろう」と付言した。交渉は膠着状態にあるが、両国はアラブ首長国連邦の仲介によって捕虜交換を実施、それぞれ200人を解放したが、さらに500人の捕虜交換が予定されている。

***米国、インドへのロシア産原油輸入禁止制裁を一時免除：**米国は、インドの石油精製業者が2026年3月5日までにタンカーに積み込まれたロシア産原油を受け取ることができるように、制裁を一時緩和した。米財務省外国資産管理局を通じて短期的制裁免除を発令した。スコット・ベセント財務長官は、4月上旬までの期限のこの30日間措置は、米・イスラエルのイラン攻撃で世界的原油価格が高騰したことを受け、供給混乱を防ぎ、エネルギー市場への圧力を緩和する目的であると述べた。

***フィンランド、核兵器禁止解除へ：**フィンランド政府は1987年の原子力法を改訂し、核兵器の輸入、保有、配備を禁止を撤廃する計画を発表した。これにより、戦争のときフィンランド領に核兵器を配備することが可能になる。「この改正は、同盟の一員としてのフィンランドの軍事防衛と、NATOの抑止力と集団防衛を最大限に活用するために必要だ」と、フィンランドのアンティ・ハッカネン国防相が記者会見で説明した。この政府計画は、右派が多数を占める議会に提出される。フィンランドの北隣人諸国は平時における核兵器の自国領内への持ち込みを禁止する法律はあるけれど、戦時中の核兵器存在を禁止する法律はない。

ドロップ・サイトの米議会情報

***リサ・マーカウスキー上院議員へのインタビュー：**ドロップ・サイトのジュリアン・アンドレオーネ記者はリサ・マーカウスキー上院議員（アラバマ州共和党）に、米国のイラン戦争決定に特別利益団体が関与したかどうかと質問したとき、彼女は「自分ならそれ（防衛関連企業）をオフィスから追い出す」と答えたが、それは「特別利益団の定義の仕方による」とも言って、その後の質問には答えなかった。政治資金と選挙や政策への影響について追跡調査するグループ「オープンシークレッツ」によると、マーカウスキー議員はこれまで親イスラエル・ロビー団体から43万6022ドル、ぼうさんぎょうのPAC（政治活動委員会）から44万500ドルを受け取っている。

***ジャレッド・モスコウィッツ下院議員（フロリダ州民主党）**はアンドレオーネ記者のインタビューで、議会の権限維持のために、自分は戦争権限決議案に賛成すると言ったが、実際には反対票を投じた。

***イランに対する大統領の軍事行動を制限する下院戦争権限決議案の共同提案者のトーマス・マッシー議員（ケンタッキー州共和党）**は、ドロップ・サイトに対し、トランプ政府は米国がイラン戦争に踏み切ったのはイスラエルのためだと事実上認めたと述べた。マッシー議員は、戦争への動きは「ネオコン」によって推進されていると述べ、「わが国の外交政策が中東で800万人の人口しかいない国に左右されるのは、実に嘆かわしい事態だ」と言った。

***イルハン・オマル下院議員（ミネソタ州民主党）**は、トランプ政府のイラン戦争の根拠を批判し、米国はイスラエルのために軍隊を派遣すべきではないと言った。また、戦争の潜在的動機にも言及し、「議会で、何故こんな戦争を選択したのかを理性的に説明できないで、ただやたらともがいているのを見ると・・・議員たちが選挙資金としてもらったカネが大きな役割を果たしていることがよく分かる」と言った。

その他ドロップ・サイトから

***英連邦は法の支配に関する懸念と野党への対応に関してパキスタン首相を召還：**ドロップ・サイトが入手した流出内部文書によると、英連邦のシャーリー・ボッチウェイ事務総長は、3月7日にロンドンで開催される英連邦閣僚行動グループに、パキスタンのシェバズ・シャリフ首相を召喚し、法の支配に関する懸念を伝える予定である。この会合では、パキスタンの司法制度に悪影響を与える憲法改正、民間人用の軍事裁判の復活、イムラン・カーン前首相の長期投獄、メディアと政治的自由への制限疑惑などの問題が議論される。パキスタンのイシャク・ダール外相は会合を欠席すると見られてお

り、代行にパキスタンの高等弁務官が出席する。これに関するワカス・アーメドとムルタザ・フセインの[レポート](#)はドロップ・サイト・ニュースで見られる。

***国境警備隊とICEがヌラル・アミン・シャー・アラムの死亡の関与：**国境警備隊と移民関税捜査局（ICE）は、ニューヨーク州バッファローで盲目のロヒンギャ族の男性ヌラル・アミン・シャー・アラムの死亡を引き起こした、無秩序な襲撃を常態化させている。ドロップ・サイトのラナ・ナトゥールはシャー・アラムを殺害した合法移民でさえも逮捕や殺害するシステムを[動画](#)を使って解説している。ドロップ・サイト・ニュースを見てください。